

製品名: Pirh2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80813**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	30kDa; 60kDa (homodimer)

抗原情報

遺伝子名	Pirh2
別名	ARNIP; CHIMP; RNF199; RCHY1
遺伝子 ID	25898.0
SwissProt ID	Q96PM5
免疫原	大腸菌で発現したヒト Pirh2 の精製された組み換え断片。

背景

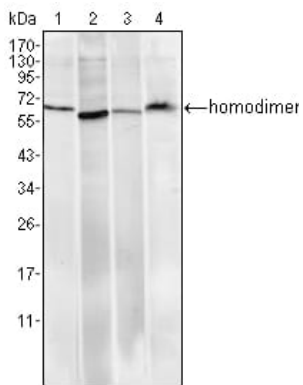
Pirh2 (P53 誘導 RING-H2 タンパク質) は RCHY1 としても知られ、細胞内で N 末端と C 末端を介して二量体を形成します。Pirh2 はユビキチンタンパク質リガーゼ活性を有し、p53 と結合してユビキチンを介したプロテオソームによる p53 の分解を促進しま

す。p53 機能の喪失は悪性腫瘍の発生に直接寄与するため、Pirh2 は発癌性を有します。Pirh2 の発現は p53 レベルを低下させ、内因性 Pirh2 発現の低下は p53 レベルを上昇させます。したがって、Pirh2 は MDM2 と共に p53 機能の負の調節因子として作用すると考えられています。

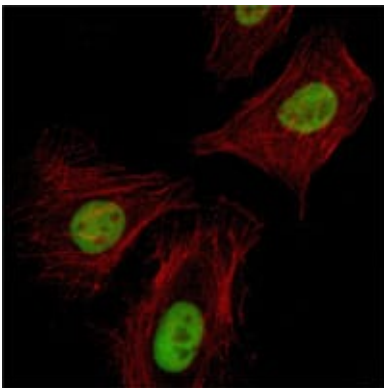
研究分野

-

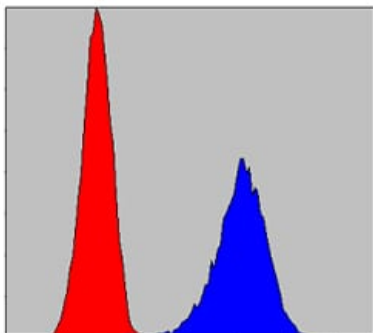
画像データ



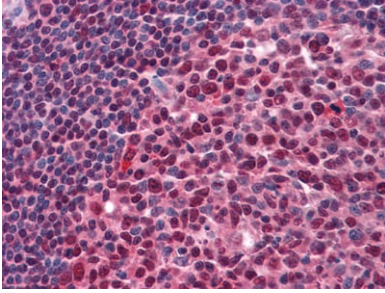
HeLa (1)、A549 (2)、MCF-7 (3)、PC-12 (4) 細胞溶解物に対する Pirh2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



Pirh2 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。赤: アクチンフィラメントを Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識。



抗 Pirh2 mAb (青) とネガティブコントロール (赤) を使用した PC-12 細胞のフローサイトメトリー分析。



抗 Pirh2 マウス mAb を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃組織の免疫組織化学分析